

地域の人々の健康を守る食育アドバイザー

平成30年度公衆衛生功労者等表彰
県知事表彰 受賞

市食生活改善推進員 連絡協議会



左から市食生活改善推進員連絡協議会の佐藤ひとみ副会長＝浅沢第1＝、中軽米こう子会長＝寄木新田＝、井上はつ子副会長＝共新＝

平成18年5月に旧3町村の協議会が合併して発足。「私達の健康は私達の手で」をスローガンに、それぞれの地域で食を通じた健康づくりのボランティアとして活動している。会員数は127人。

「一緒に活動してきた会員の皆さんに感謝したい」と、受賞を喜ぶのは、市食生活改善推進員連絡協議会の中軽米こう子会長。12月19日にアイーナで開催された平成30年度公衆衛生功労者等表彰式で、日頃の活動が認められ、公衆衛生模範団体として県知事表彰を受賞しました。

同協議会は、脳卒中などを引き起こす生活習慣病予防のため、食を通じた健康づくりの事業を展開しています。市内の小学校や学童保育クラブ、平館高校、高齢者が集ういきいきサロンな

市食生活改善推進員になるには？

市食生活改善推進員は、市が開催する養成教室を受け、修了する必要があります。

食の知識と調理の技術を習得して、食育アドバイザーを目指しませんか。養成教室は秋に開催を予定しています。

■問い合わせ先
健康福祉課健康推進係 ☎・内線1082



平館高校の授業でお菓子や飲料に含まれる砂糖・油の量を説明する中軽米会長

どこに出向き、塩分を少なくして野菜のうま味でおいしく食べる減塩料理を広めています。また、郷土料理の伝承や料理講習会の開催、他市町村の食生活改善推進員との交流など、さまざまな活動をしています。

中軽米会長は「身近な食品には多量の塩分や砂糖、油が含まれていることを知ってほしい。食は命をつなぐもの。これからも市民の健康づくりを第一に、活動を続けていきたい」と、今後に向けて意欲を燃やしていました。

編集後記

▽小林陵侑選手が、ジャンプ週間で史上3人目となる全勝優勝とW杯10季ぶりの6連勝最多記録を達成したことに感動しています。市役所正面に掲げた陵侑選手の優勝数を表す懸垂幕「陵侑メーター」は1月29日時点で9勝。どこまで伸びるか楽しみです。



▽歯科保健表彰式の3歳児虫歯のない親と子で受賞した伊藤さん親子から「歯磨き後にアニメを見るなどの好きなことをさせている」と歯磨きの秘訣を伺い、なるほどと納得。好きなことを辞めさせてから歯磨きをして我が家の5歳の息子を見て、ぜひ実践したいと思いました。

▽グルージャの鈴木達也選手と麦倉捺木選手が1月29日、昨季の報告と今季の応援のお願いに市役所を訪れました。今季からクラブ名を「いわてグルージャ盛岡」と改め、県内33市町村をホームタウン化して「岩」となって戦っていくとのこと。グルージャといえばマスコットの「キゾール」が有名です。プロフィールを見ると、落語が好きで、折鶴ながら「折れない心」の持ち主。独特なデザインもさることながら、秀逸な設定も人気の秘密かもしれません。今季はイオンで翼を豊んでエスカレーターを降りてくる姿ではなく、スタジアムでキゾールを、そして熱い試合を見たいと思います。